

## 質問書に対する回答

(件名) 東関東自動車道 吉倉高架橋耐震補強工事

No.	質問箇所	質問事項	回答
1	特記仕様書22-9、11、14	小菅高架橋の22-11落橋防止構造および22-14支承取替工に既設塗膜除去が含まれていますが、施工は22-9塗替塗装工と同様と考えてよろしいでしょうか。	小菅高架橋は鉛等の有害物質が含まれていないため、22-9塗替塗装工に示す湿潤化による剥離やかき落とし作業は必要ございません。
2	特記仕様書22-14 設計図 吉倉高架橋 38/232	支承取替工の作業内容において既設支承の撤去でソールプレートの撤去の記載がありませんが、ガウジングなどの作業はないのでしょうか。	設計図で既設支承のソールプレートの撤去について記載しております。なお具体的な撤去の方法については指定するものではないため貴社の施工計画に基づきお考えください。
3	特記仕様書 22-14 設計図 吉倉高架橋 71-77/232	固定装置、仮受ブラケット、直角方向固定装置のアンカー一定着の材料は有機系、無機系どちらでしょうか。また、想定されているロス率をご教示願います。	アンカー一定着の材料は構造物施工管理要領Ⅲ-6-2に記載の性能を満たす材料であれば有機系、無機系どちらでも構いません。ロス率については、10%を考えております。
4	設計図書 吉倉高架橋 35/232	注記2に『鉄筋探査を行う等して既設鉄筋を切断しないよう留意すること』と記載がありますが、数量計算には鉄筋探査の数量がございません。積算では反映されているのでしょうか。その場合、数量をご教示願います。	鉄筋探査の費用は関連する単価項目に含まれているとお考えください。なお、積算はコンクリートチップの面積を鉄筋探査の数量として考えております。
5	数量計算書 吉倉高架橋 P64	A1、A2のボルトとベースプレートの溶接実長は $L=0.048 \times \pi \times 16$ 本=2.41mと記載されていますが、5支承あるので2.41m×5箇所=12.05mではないのでしょうか。	そのとおりお考えください。
6	設計図書 吉倉高架橋 125/23	橋軸直角方向固定装置部材詳細図のアンカーボルトの寸法はD29×520ですが、アンカーボルト詳細ではD29×510となっていますが、どちらが正しいのでしょうか。	橋軸直角方向固定装置部材詳細図のアンカーボルトの寸法は、アンカーボルト詳細をご確認ください。
7	設計図書 吉倉高架橋 231/232	縁端拡幅工の支保工の設置期間は何か月でお考えでしょうか。ご教示願います。	貴社で考える施工計画に基づき必要な期間を計上願います。
8	設計図書 吉倉高架橋 180- 181/232	橋座補強工で使用するPL 410×22×580の材質をご教示願います。	SS400材です。

9	設計図書 小菅高架橋 217/286	橋座補強工で使用するあと施工せん断補強筋は両端頭付と記載がありますが、計画されている工法をご教示願います。	工法を指定するものではございません。
10	特記仕様書 22-6-2	鉄筋工に梁下面と底版上面に定着させるあと施工アンカーが含まれていますが、コンクリート殻の運搬処分も含まれているのでしょうか。	含まれるものとして必要な費用を計上してください。
11	設計図書 小菅高架橋 276/283	P9～A2の落防止対策工は移動足場で行う計画になっていますが、横構が支障となり施工箇所近傍まで近づけないと思われませんが、施工方法はどのようにお考えでしょうか。ご教示ください。	主桁や横桁を避けた位置に高所作業車を配置することにより施工可能と考えています。
12	設計図書 小菅高架橋 8/283	段差防止構造の緩衝材を取り付けるボルトはM16と記載がありますが、寸法をご教示願います。	設計図 小菅高架橋59/283 に記載のとおりです。
13	設計図書 吉倉高架橋 224/232	市道切回し工において現地を確認するとガードレールが支障となると思われませんが、数量表に反映されていません。ガードレールが支障となる場合、協議の対象となりますか。	ガードレールは支承にならないと考えているため計上しておりません。なお、現地照査の結果、設計図書と現地に相違がある場合は監督員と別途協議するものとします。
14	特記仕様書 22-24-4	橋梁主桁補修工の支払いで『除去した塗膜範囲の防錆、補修部材の防錆』と記載がありますが、数量をご教示願います。	設計図書を元に必要な数量を算出してください。なお、除去した塗膜範囲の防錆面積は2.596m <sup>2</sup> 、補修部材の防錆面積は1.398m <sup>2</sup> を想定しております。
15	特記仕様書7-1	小菅高架橋P5橋脚及びP6橋脚の鉄道敷地側の足場設置撤去は夜間作業(0:00～5:00)となっていますが、実質的な作業時間と考えてよろしいでしょうか。	そのとおりお考えください。
16	特記仕様書5-1	小菅高架橋P5橋脚下り線の資材荷揚げの揚重場所がありませんが、P4～P5間の敷地は使用できるのでしょうか。	そのとおりお考えください。
17	特記仕様書15-5-3	小菅高架橋P6橋脚付近の架空線の管理者、条件等の記載がありませんが、足場、支存取付に支障となると思われまます。また、P6橋脚下り線は資材荷揚げの揚重機械の配置場所がないと思われまますが、どのように計画されているかご教示願います。	特記仕様書15-5-3の記載のとおり、P6橋脚の架空線の管理者、条件等は小菅高架橋A1～P1間に位置する架空線と同様、管理者は「東日本電信電話(株)」、条件等は「保護」とします。P6橋脚下り線の荷揚げについては、P6～P7間を想定しています。
18	特記仕様書22-14-2 2)	既設、固定装置等のボルト切断はコンクリート面までの切断でよろしいでしょうか。	そのとおりお考えください。

19	金抜設計書B-1頁 8-(1) コンクリート A1-5	NEXCO積算基準の耐震補強対策工に使用するコンクリートでは、1回当りの打設量は原則として1橋脚分と記載がありますが、本工事においては打設回数を考慮して費用を算出していますでしょうか。	必要と考えられる打設回数を考慮すべきと考えております。
20	特記仕様書P9 14-1	発生する残存物件と引き渡しについて、引き渡し場所までの運搬及び積込・荷卸しにかかる費用については当初設計に計上していると考えてよろしいでしょうか。	そのとおりにお考えください。
21	特記仕様書P29 22-11-2	2) の製作については、どの歩掛を採用されていますでしょうか。 ①NEXCO積算基準 大型部材の製作、小型部材の製作 ②NEXCO積算基準 一般鉄骨構造の製作 ③その他	NEXCOの積算基準に基づき、条件に合致する歩掛を想定しております。
22	特記仕様書P29 22-11-2	9) の取付け作業については、どの歩掛を採用されていますでしょうか。 ①橋梁架設工事の積算 落橋防止システム工の部材取付工(落橋防止装置取付工) ②橋梁架設工事の積算 補強部材取付工(撤去工)(ボルトによる補強部材) ③その他	橋梁架設工事の積算の他、条件に合致する歩掛を想定しております。
23	特記仕様書P36 22-14-2	5)・6)の製作についてはどの歩掛を採用されていますでしょうか。 ①NEXCO積算基準 大型部材の製作、小型部材の製作 ②NEXCO積算基準 一般鉄骨構造の製作 ③その他	NEXCOの積算基準に基づき、条件に合致する歩掛を想定しております。
24	特記仕様書P36 22-14-2	12) の取付け作業については、どの歩掛を採用されていますでしょうか。 ①橋梁架設工事の積算 落橋防止システム工の部材取付工(落橋防止装置取付工) ②橋梁架設工事の積算 補強部材取付工(撤去工)(ボルトによる補強部材) ③その他	橋梁架設工事の積算の他、条件に合致する歩掛を想定しております。
25	経費	本工事の経費算出における施工地域の補正の区分は、市街地をお考えでしょうか。	特記仕様書1-3に記載のとおりです。